

アルファ・ウイン 企業調査レポート

シーシーエス (6669 東証 JQS)

アルファ・ウイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

● 決算速報

◆ 会社概要～画像処理用 LED 照明市場のリーディングカンパニー

- ・シーシーエス（以下、同社）は、画像処理用 LED 照明市場で国内外ともにトップシェアを握るリーディングカンパニーである。主力の MV（マシンビジョン）事業では、生産ラインにおける外観検査、位置決め、文字認識等の工程で使われる LED 照明装置及びその制御装置の開発・製造・販売を行っている。顧客毎に最適な照明法を提案できるライティングソリューションが同社の強みである。
- ・2016 年 5 月に TOB により、オプテックスグループ（6914 東証一部）の子会社となった。短期的には調達力の向上、中期的には製品開発における効率化等が見込まれる。

◆ 2016 年 12 月期決算～売上高は国内市場が牽引し前年同期間比 9%増と順調に拡大

- ・同社の 2016/12 期（8 月～12 月の 5 カ月の変則決算）の売上高は 3,103 百万円（期初計画比 103.4%）、営業利益は 258 百万円（同 151.8%）、経常利益は 236 百万円（同 147.5%）、当期純利益は 150 百万円（同 150.0%）であった。
- ・利益面の計画達成率が高いのは、注力分野への選択と集中を進めた結果、研究開発費を含む販売費及び一般管理費（以下、販管費）の絞り込みができたためである。
- ・月次決算に基づく前年同期間との対比では、売上高は国内 MV 事業が牽引し 9.1%増と順調に拡大した。営業利益は同 27.6%減であったが、前年同期間に生じなかった変則決算特有の期末費用 110 百万円（決算賞与、監査報酬他）を除いた実態は微増益（前年同期間 356 百万円→368 百万円）であった。
- ・国内 MV 事業は同 17.2%増の 1,605 百万円であった。車載用電子部品をはじめ電子・電気・半導体業界向けや三品（食品・化粧品・医薬品）業界向けが好調であった。新製品の開発やカメラ・電源メーカー等との協業による品揃えの拡充、増設が進むテストングルーム（顧客が直接ワークテストを行うことが出来るコンサルティング拠点）の有効活用等によりソリューション提案力の向上を図った結果、増大する顧客ニーズを着実に取り込むことができたと考えられる。
- ・海外 MV 事業は前年同期間比 5.2%減の 1,148 百万円。円高（期中平均で対ドルは前年同期間の 121.60 円→106.25 円、対ユーロは同 134.26 円→116.25 円）による減収要因 155 百万円を除けば同 8.7%増であった。北米が伸び悩んだが、駐在員事務所を新設したマレーシアはじめ ASEAN や欧州は堅調であった。
- ・新規事業は前年同期間比 33.7%増の 350 百万円。増収要因はアグリバイオビジネスの大型案件計上や UV ビジネス（紫外線照射で硬化する樹脂を用いた印刷インキ定着、電子部品接着等）の拡大等である。

◆ 2017 年 12 月期計画～売上高、営業利益ともに過去最高値の更新を見込む

- ・同社は 2017/12 期業績について、売上高、営業利益、経常利益ともに 2016/7 期の過去最高値を更新すると予想している（当期純利益のピークは税負担がイレギュラーであった 2015/7 期の 772 百万円）。なお、外国為替レートの前提は対ドル 100 円、対ユーロ 110 円、為替の影響は対ドル 1 円の円安で売上高 800 万円、営業利益 580 万円の増加要因、対ユーロは同順で 830 万円、600 万円の増加要因となる。
- ・予想売上高 8,100 百万円（2016/7 期比 9.8%増）の内訳は、国内 MV 事業 4,350 百万円（同 14.8%増）、海外 MV 事業 2,650 百万円（同 9.2%減）、新規事業 1,100 百万円（同 64.9%増）である。

決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様から本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

- ・国内 MV 事業については車載向け電子部品をはじめとする顧客業界の堅調な設備投資を想定し、ソリューションの深みを増すことで売上高の伸長が望めると同社は見込んでいる。海外 MV 事業については、米国新政権の打ち出す施策に伴い為替レート及び設備投資計画の変動が懸念されるため、保守的な予算組みとなっていると思われる。新規事業については UV ビジネスを中心に業容拡大を想定している。
- ・同社の予想営業利益は 2016/7 期比 2.9%増の 930 百万円である。売上総利益は円高の影響やソリューション営業の強化に伴う仕入販売の増加により、増収率を下回る同 7.4%増（利益率は同 1.2%ポイント低下の 57.2%）を想定。販管費については同 8.7%増（対売上高比は同 0.5%ポイント低下の 45.7%）と想定している。

【 6669 シーシーエス 業種：電気機器 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/7	6,951	26.2	773	37.8	760	54.5	772	93.7	186.52	698.62	20.0
2016/7	7,376	6.1	904	17.0	880	15.9	615	-20.4	137.93	782.25	22.0
2016/12 変	3,103	9.1	258	-27.6	236	-32.2	150	-46.5	27.78	801.69	10.0
2017/12 CE	8,100	9.8	930	2.9	910	3.4	620	0.8	114.44	—	22.0

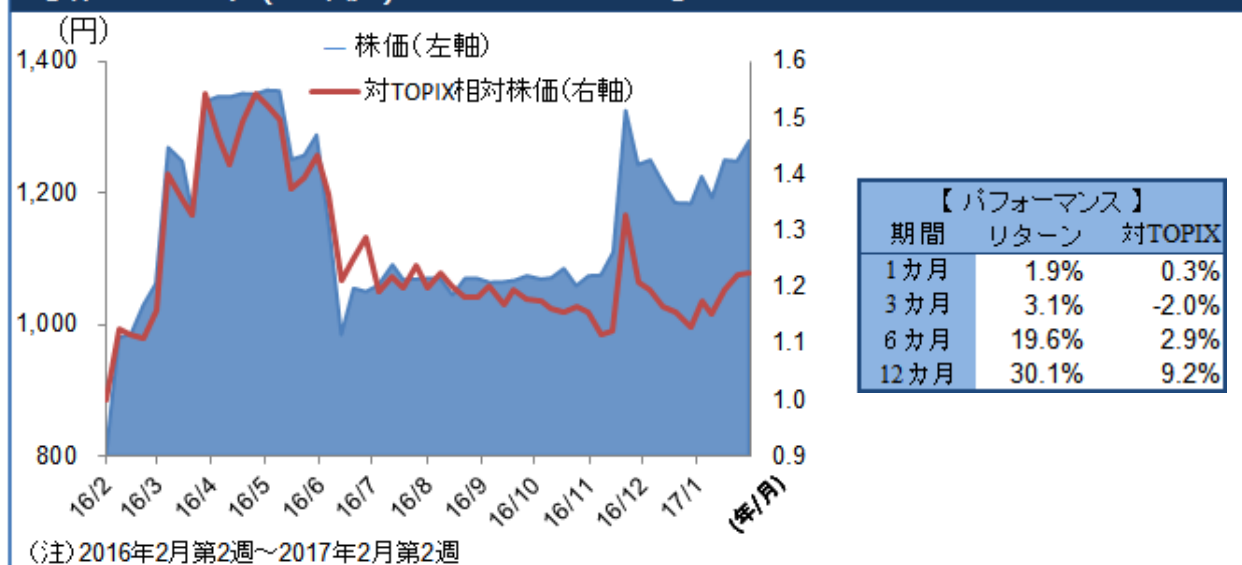
(注) CE：会社予想、2016/12期は5カ月の変則決算。2016/12期の前期比には前年同期間、2017/12期については2016/7期との対比を記載

【 株価・バリュエーション指標：6669 シーシーエス 】

項 目	2017/2/10	項 目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株 価 (円)	1,279	前期実績	46.0	1.6	0.8%	36.0%
発行済株式数 (千株)	5,417	今期予想	11.2	—	1.7%	19.2%
時価総額 (百万円)	6,929	前期末自己資本比率	64.5%	前期ROE	3.5%	

(注) バリュエーション指標の前期実績は、5カ月の変則決算数字により算出、予想はシーシーエスの業績予想に準拠、変則決算前の2016/7期のROEは15.1%、同期基準PERは9.3倍、PBRは1.6倍、配当利回りは1.7%、配当性向は16.0%

【 株価チャート (週末値) 6669 シーシーエス 】



ディスクレーマー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。